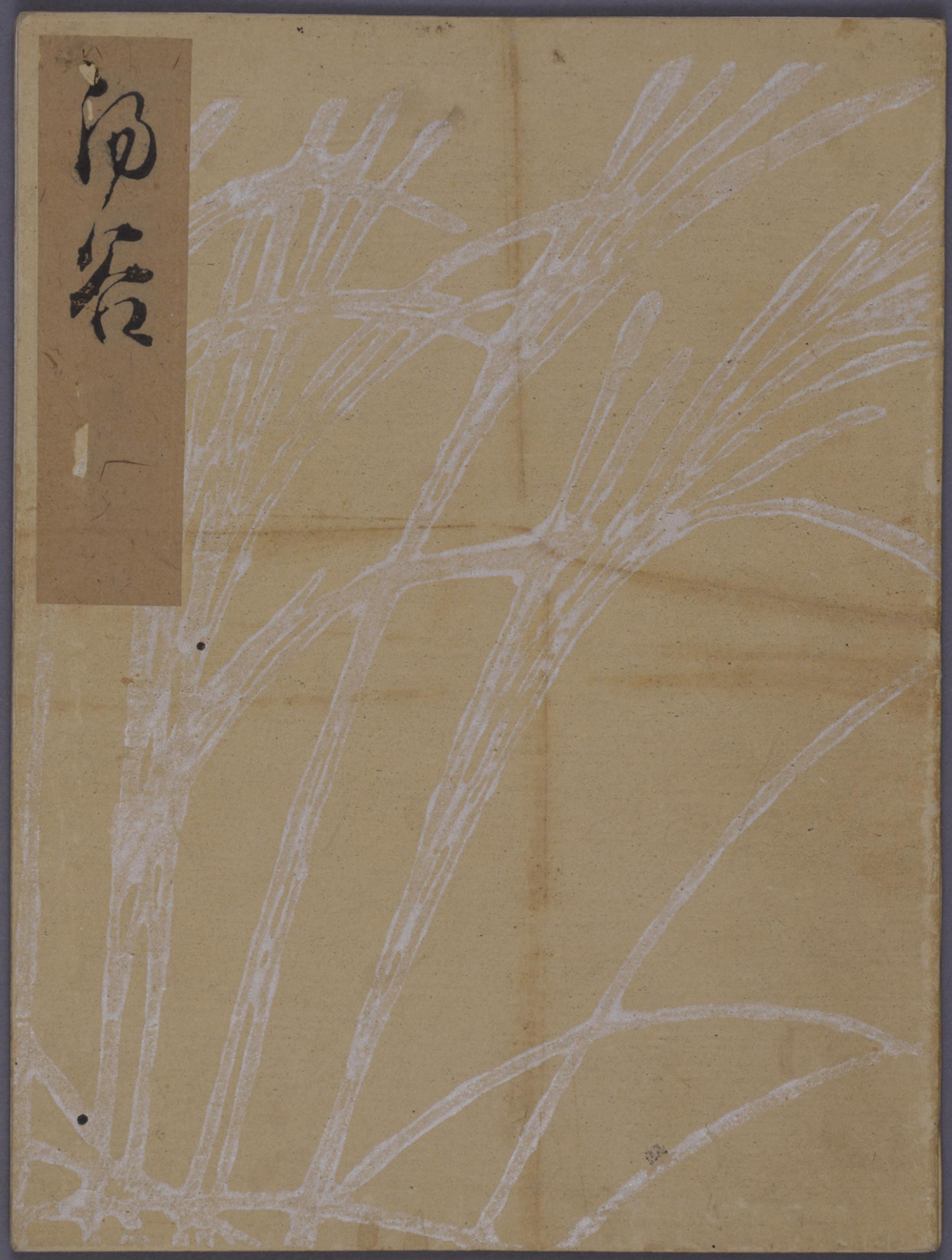


[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-001
国立国会図書館

ヤキ訂

是ハ栗乃宗盛なるべ梅も幸江國
池田新宿乃長をそゆや此中ハ
びさし見ゆゝ兎をきそひ、まゝ
此ほとハ母のいゝりるとそ
ごひく服をこひかん其此あ
たりわ乃花見乃とも此おもひ
とゝ兎置て作ばりに詠かあふ

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-002
国立国会図書館

（トモ）
清前小は　（ヤキ）遊やまとてあらハ
此方へまゐ　長ては　（ツレ女次才）筋新冒
おしきおなれ屋ぐ咲此筆を
見ゆす　（サシ）是ハ遠江國池田乃宿
長老新清内ゑ清ゑ中ゑ槿と中
如まてゐ（詞）ごとても申や久安都に
清のはりぎ母の清痛りまとて

ごひく人を清乃ほさんに世
清下わもなくはほとよ此度を
槿の清定ゑ乃ほ里は　（上三の）此程の
旅乃太のはもうひてぐぐぐ
夕皆新宿なるす筋もりはそふ
りまと槿ありし皆して程も明く
都よりやまほなみくわく

訂

あらまほしや急ひほとゝ水都に
清きてひ見なる海清内の中や乃
清の以とゝ詠まてあるくるは
先て案内をやさりや思ひ作
ゞりに案内や作池田乃宿より
槿の案里てひう稱く清さん
シテサシ
学木を雨露乃めぐ見屋あひ

えてハ花の父母たわ咒人冒に
をいてをやあら清心をとなや
ことゝ
ほとり清の以ら無 ツ訂 池田乃宿
より槿の案里てひ 三訂 なるに槿を
やのあらぬ先はらしやさて
清いらりまそほと清の あほう
ツ
以ゑに清の以ゞ稱に清文乃以

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-004
国立国会図書館

清詠んん　シテ　あら嬉しや先々
清姫ミをみうけるまでは　あら
喫止や此清文乃やまもたのみ
けしなまみしては　ツレ　さやまに
清入は　シテ　此上ハ槿をも清まで
宗里ゞ又此文をも清目にかけて
清服をやさふけるまであふう

き服へ来里んへ　詠の渡里は
トモ　屋湯谷乃清百姓里にては
シテ　まらなり宗里たるよし清ゆへ
此清やはゞ以りふや上はゞゆや乃
清宗里までは　ヤキ詞　此方へ来まぜ
ゆへ　長てんぞ　き服る西清宗里
んへ　シテ詞　以りりや上はぎ母好

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-005
国立国会図書館

いろいろ以ふ小ひとそ此度を
あさかはり文を乃ほとそ候
ひせなきかんともそと見宗に
の以面し（半詞）なるに此故ゆよ事ゆ
ぬミ此ん やゞるまそもなし
う所よそたしうふよ見ん
（シテ上）寸家殿乃其所東乃愛さし所を
見たくたしとなりわ鶴山宮乃
（下）秋の東乃月をりまなきしも
あらはず末世一代教主乃如来も
生苑乃極をそ乃まさたりは
ゞ事し二月の比やしとなる
ぼとか説此所ん雲ふわまさ原
柝木樒ごとしりわ所兼をふ

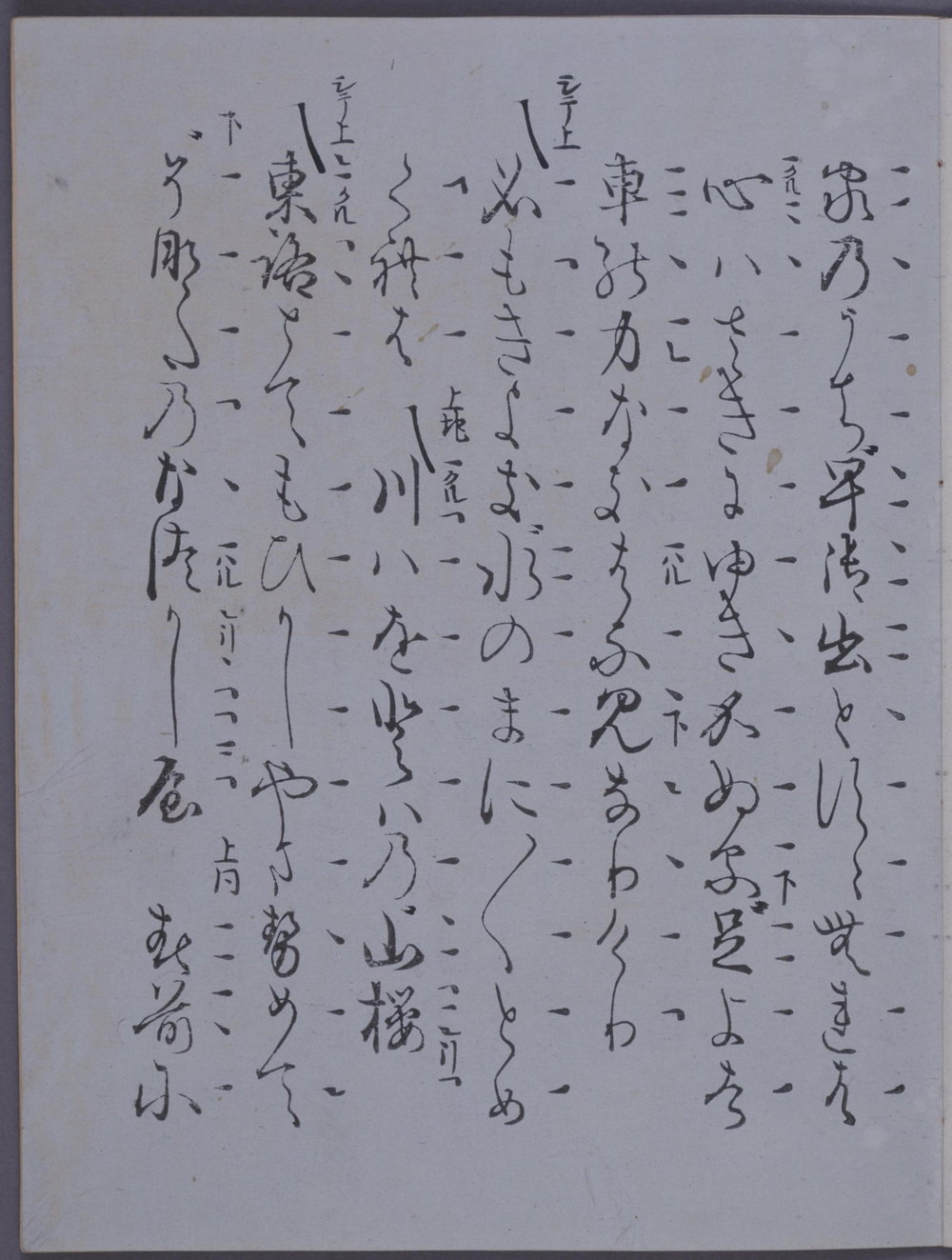
[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-006
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-007
国立国会図書館

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-009
国立国会図書館

雨あ清てたゝ乃ひらくなると
たゞし秋は小雲なまして落葉
生しし山ゑ山あ清て山豊は
路中ありしたちおほふして見たち
幾たまわなし　山青く山白く
して雲来去は人たゝし見人
なまぬ兄見所世上乃ち稜なわ

下三の
詠のいひしあの名実長閑なる
東山　上三の　四條五条乃橋の上ぐ
ぎ名男女光明都鄙ぎ見多世ゑ
袖をはらひて行末乃雲かと
見して八重ひとへざ見九重ゑ
下
花盛ゑにおふあ乃気をかく
上ロニ丰地
河原おもてをゑりハ点く心落

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-010
国立国会図書館

ほともなく車大路や六波羅乃
地蔵堂とし拝せ　親者も
同座あるで闇提救世乃方便あり
さふたらち祝を守王たまへや
実や守王祝末にて小船世高を
しらぬのをこ幾乃寺も打ゐぬ
六道乃さとる也　実相ゆ詠しや

此道ハ宮達に通ぬなる物我心
ほゝ寺新山　煙祝末も落霞せ
聲も猿鹿乃横たはる　小計落
星祝くもわなる　法の世も
昇見なる　經玄堂ハ見ぬとく
見たらち祝を見ぬなる子安乃
塔を通りた　我祝保行物の道

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-011
国立国会図書館

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-012
国立国会図書館

湯谷のりしまわてはみなのよ
とそなうゝ湯谷里りうゞ急ひて
湯谷里あまとの湯すまそは
なるは理りや湯谷許りしまわ
たるとや〻きせは〻てうた
集うぬいるまてはたみく皆く
近う湯下以里ん〻あら面白の

なやはじめ我きりの里暇見えて
作小なるとて湯當座那とかし
あうたち雅んをぬうおさまや
おもひうちにあまたい以称系よ
あうけるよしやよしかなる世の
なうひ欲きそもみあまわあるま
華前小蝶舞紛〻たる雪柳上に

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-014
国立国会図書館

う清わまん清水も同じく鐘の
稲荷の山の薄紅葉の青かりし
葉の秋又花の春は清水のたゞ
たのめたのもしき春もちゞの
花ざかり山の名の音羽嵐の
花の雪深き情を人やしる
まつ〳〵其清掛よ可以遊し

ゆや一さし舞候へ　深き情を
人やしる　なう〳〵俄に村雨の
して花を散らし候ぞや
げに〳〵村雨の降来て花を
散らし候ぞや　あらこゝろなの
村雨や春雨の降るはなみだか
ふるは涙か桜花散るを惜まぬ

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-016
国立国会図書館

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-017
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-018

国立国会図書館

[謡本] 湯谷 1冊 WA7- 098-019

国立国会図書館